

大学構内の早咲き桜(奈良女子大学メールマガジンより抜粋)

「三寒四温」の気候を繰り返しながら着実に暖かくなってきました。大学中庭の桜の蕾も膨らみを増し、赤く色づいてきています。

【お願い】奈良女子大学メールマガジンは3月20日時点で437号の配信となりました。読者数は890名程度です。メールマガジンへの配信記事(研究会広報、大学構内写真、大学周辺写真等)がございましたら、e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp までお送りください。

1. 「研究紹介集・シーズ集2013-2014」を新規発行しました。

「奈良女子大学研究紹介集・シーズ集」もすでに2004年3月からの発行から数えて11冊目となります。本学のこの冊子は、全学の教員の方の研究紹介シートを載せていただいております。産学官連携のみならず本学を志願される学生さん等、広くご活用いただいております。毎年のご協力に感謝申し上げます。冊子はコラボレーションセンター1階研究協力課に備えています。必要なお声掛けください。なお、平成25年度に着任された先生方には1冊配布させていただきます。



2. 活動報告<1>

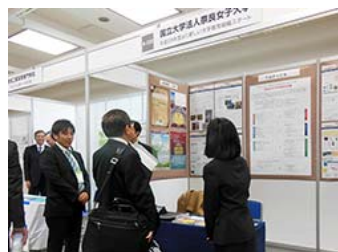
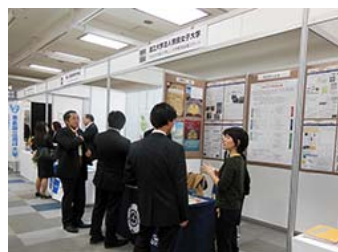
■ 第11回研究フォーラム(11/4)

毎年、学内の研究内容をテーマをたてて、学外の方に発表する場として、10年以上にわたって続けられている「研究フォーラム」ですが、4月に開設された臨床心理相談センターの研究者(生活環境学部に新設される予定の「心身健康学専攻・臨床心理学コース」の教員(臨床心理士有資格者))の紹介を兼ねた講演、および著書、DVDの他、NHK「クローズアップ現代」「名医にQ」や健康番組などを通して、心の病に関する最新の知見をわかりやすく伝えることにも腐心されておられます東京女子医科大学神経精神科坂元薫教授の基調講演の2本立てで行いました。



■ <ナント>元気企業 マatchingフェア.2013 (11/20)

南都銀行と南都経済研究所が主催するビジネスフェアが大阪の会場で開催され、出展いたしました。研究紹介（研究紹介集の配布）、公開講座の告知に加え、今回は平成26年度から新しくなる本学教育組織について広く知っていただける展示としています。南都銀行の方はもちろんのこと、近畿経済産業局、中小企業基盤整備機構近畿本部、生駒商工会議所の方々が「いつもお世話になっています」とブースを訪ねてくださいました。



■ 奈良マラソン2013EXPO (12/7、8)

奈良マラソン2013に今年も奈良女子大学としてブースを出しました。漫画研究会と美術部の学生による似顔絵コーナーは今年も大盛況です。学生は、「こんなにたくさんの顔を描かせてもらえるって、すごい勉強になるよねー」「幼い子の顔ってやっぱり全然違う！」と話しながら一枚、一枚丁寧に仕上げていきます。昨年に描いてもらったものは市長室に飾っていると、中川奈良市長がブースを訪れて、学生に草餅の差し入れをしてくれました。また、文学部人間科学科スポーツ科学コースによる体軸測定コーナーを設けていただきました。1分間じっと立っている中で、体の微妙な揺れや、軸中心を計測できるのですが、自分の体のことを知りたいと考えておられる方が多く、長い列ができてしまいました。測定結果は学生や藤原素子教授、高德希助教より丁寧にデータの見方を説明しています。奈良女子大学にこのような学科があると良いPRの場になったと実感できました。



■ 平成25年度文部科学省産学官連携支援事業 「全国コーディネート活動ネットワーク」関西地域会議 (12/12、13)

本学を会場に「全国コーディネート活動ネットワーク・関西地域会議」が開催されました。「全国コーディネート活動ネットワーク」は産学連携従事者の全国的なネットワークを構築し、その活動を促進すると共に、地域を越えた広域的な連携強化により、産学官連携活動の持続可能な体制整備及び質的向上を図ることを目的に開催されています。**産官学の3組織がしっかりと連携し、新しい商品化に成功した事例として、本学研究院自然科学系岩口伸一准教授の研究成果事例**がとりあげられました。会議に先立って、文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 課長木村直人氏、経済産業省 経済産業政策局地域新産業戦略室 参事官補佐飛矢崎峰夫氏らと、本学学長、副学長の意見交換会も開催されています（一枚目の写真です）。



■ 奈良経済同友会との懇談・交流会（1/20）

奈良経済同友会は、昭和23年6月戦後の混乱期の中で、古い歴史を持つ土地柄の奈良県に日本経済の再建を目指して当時の若手経営者によって結成創立された経営者集団です。

奈良経済同友からは読売奈良ライフ 朝廣佳子氏より「地域資源・奈良の活用と観光イベント」と題して、ここ数年に新しく企画され成功を収めている事例を中心に報告され、本学からは以下の3人より研究や学内事業紹介がなされました。

「アジアの大気汚染と気候変動」研究院自然科学系 教授 林田佐智子

「奈良女子大学のポストドクターキャリア開発事業」キャリア開発支援本部 竹中信之

「高齢者の営農を支える『らくらく農法』の開発」研究院人文科学系 准教授 寺岡伸悟

奈良経済同友会の新年例会を兼ねる本学との交流会とあって会場のコラボレーションセンター3階の教室にはパイプ椅子を追加しての対応となりました。



3. 活動報告<2>

本紙は産学連携推進レターとして、産学連携推進部門での活動報告を中心に（個別の研究案件については公開できませんことご容赦ください）報告していますが、地域連携推進事業との境界にあたる事業について、「活動報告<2>」としてご紹介します（公開講座、シンポジウムは地域連携推進事業です）。

■ 第一回『一歩ふみ出す女性への手紙』（募集期間H25/12/1-H26/2/14）

卒業、進学、就職…。家族、家庭の中で…。

希望の中にも不安を抱えるとき、そっと背中を押してくれるメッセージで心がふっと軽くなる…。

社会連携センターでは、これから一歩を踏み出す女性への応援メッセージを募集してまいりました。

いただいたメッセージにはどれも「愛」が、「優しさ」が溢れています。その中から 入選8作と優秀賞2作を選ばせていただきましたのでここにご報告いたします。すべての応募作品は大学HPに掲載しています。

【優秀賞】

- ・泣ける時、かすかな光が見えたなら、それは「大丈夫！がんばれ！」と未来の自分が送るあなたへのエール。
- ・つたい歩きから手を放して、ふらふらと歩き始めた時の貴女を思い出しました。あのときの貴女、笑ってたよ。

【入賞】

- ・相手を思えば何が必要かが見えてくる。相手を大切に思える様になったら、自分の出来る事が増えている証拠。
- ・父母は、変わらぬ毎日を過ごしています。あなたの帰る場所はありますよ。いつでも帰ってきたらいいですよ。
- ・人生いたるところに壁がある。でも心配ご無用。踵で歩けば視界が激変。これくノ一の秘伝なり。
- ・新しいことを始める時、誰しも不安がありますが、失敗を恐れず、それぞれの目標に向かって挑んでください。
- ・貴女の志が高い程、その道のりは遠く険しい。幾多の試練を乗り越えて成就する。大輪の花！！咲かせて欲しい。
- ・与えられた仕事をまずは受け入れて懸命にこなしてみよう。女性であることは有利ではないが不利でもない。
- ・手を挙げて手当たり次第にやってみよう。社内外に友人をたくさん作ろう。小さな経験こそ将来の力になる。
- ・こんな一歩でも何も変わらない、と思うのはおよし。そうすればすべてが変わる。

4. 今後の活動予定



- 南都銀行創立80周年記念セミナーに共催しています。

平成26年6月1日に創立80周年を迎えられる南都銀行では、本学および奈良大学との共催にて、奈良県の歴史や文化をテーマとした記念セミナーを全10回開催されます。そのうち5回を本学教員が講師を務めます。

邪馬台国論争とは何か～日本史学の深淵～
奈良の仏画～聖なる仏の多様なイメージ～
平城から南都へ
町づくり・村づくりと近代の銀行建築
南都浄土曼荼羅の世界
～人々はどんな浄土を願ったのか～

小路田泰直 教授
加須屋誠 教授
西村さとみ 准教授
増井正哉 教授
千本英史 教授

5. グッズ

手提げ袋やも公開講座、学会等でご利用いただけるオリジナルメモブック等を社会連携センターでは備えています。必要な方はご相談ください。



Size A5 32p

6. 各種公募情報

ここでは研究助成公募を載せています。

各種表彰などについては<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/koubo.html>をご参照ください。

また本学に募集のあった共同研究の公募については<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/kyoudou.html>をご参照ください。

(公財)クリタ水・環境科学振興財団 2014年度国内研究助成

【公募時期】平成26年4月1日～5月15日23:59必着

【助成対象】水や水環境分野における研究

AB.自然科学・技術(1)(2)、C.人文・社会科学、D.特別テーマ、E.萌芽研究

【助成金額】H26/10/1-H27/9/30 年間上限ABD.150万円 C.70万円 E.50万円

【応募対象】原則45歳以下 Eメールで申請のこと

(公)富士フィルム・グリーンファンド 2014年度FGF助成

【公募時期】平成26年5月12日 消印有効

【助成対象】自然環境保全のための活動・調査研究 A:活動助成 B:研究助成

【助成金額】原則1年間 総額850万円/4件程度

【備考】間接経費(オーバーヘッド)は助成対象外

(公)乾太助記念動物科学研究助成基金 平成26年度研究助成候補者募集

【公募時期】平成26年5月10日 消印有効

【助成対象】哺乳類や鳥類の保護・増殖に関する研究

【助成金額】原則1年間 50万円以内/件

【応募対象】35歳以下(H26/5/10現在)の若手研究者 指導教員等の推薦要

【備考】間接経費は助成対象外

(公)ミキモト海洋生態研究助成基金 平成26年度研究助成候補者募集

【公募時期】平成26年5月7日 消印有効

【助成対象】潮間帯から浅海にわたる海域に生息する生物、生息環境、生態の保全のあり方に関する調査研究

【助成金額】2年以内 上限100万円/件

【応募対象】学生、大学院生も応募可

【備考】間接経費は助成対象外

(公財)国土地理協会 平成26年度学術研究助成

【公募時期】平成26年4月1日ー4月18日必着

【助成対象】地理学および関連する分野 他

【助成金額】1年 上限100万円/件

【応募対象】大学院博士後期課程修了、もしくは同等以上の能力と研究経験を有していること
大学院生応募可(指導教員が代表者となる)

(株)リバネス 第19回リバネス研究費

【公募時期】平成26年4月30日24時必着

【助成対象】募集要項に詳細記載

【助成金額】上限50万円/件 他

【応募対象】申請対象:若手研究者(40才以下) B.修士課程、博士課程の学生およびポスドク
申請には会員登録が必要

(公財)サントリー文化財団 2014年度研究助成 前期募集

【公募時期】平成26年4月10日(消印有効)

【助成対象】A.人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成

B.地域文化に関するグループ研究助成

【助成金額】H26/8/1-H27/7/31 50-300万円/件

【応募対象】A,B.併願不可 個人研究、一つの組織・機関の研究者のみで構成された研究は対象外

【備考】間接経費は助成対象外

(公財)生命保険文化センター 平成26年度生命保険に関する研究助成

【公募時期】平成26年4月30日必着

【助成対象】生命保険およびこれに関連する研究

【助成金額】H26年度 上限50万円/件

【応募対象】大学院生(博士後期課程)、助教、講師、准教授
大学院生の場合は指導教員の推薦書要

(公財)中央教育研究所 平成26年度教科書研究奨励金

【公募時期】平成26年4月25日必着

【助成対象】教科書についての様々な研究

【助成金額】平成26年度 20万円/件

【応募対象】大学院生申請可

(公財)関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団 平成26年度助成事業

【学内締切】平成26年8月20日

【助成対象】A.電気エネルギーの供給・利用技術、電気エネルギーに係る資源リサイクル技術等に関する研究
B.被災時における電力供給をはじめとするライフラインの早期復旧に資する研究

【助成金額】平成27年度 上限100万円/件

【応募対象】(H27/3/31現在)40才以下の常勤研究者

社会連携センター センター長 内田忠賢(研究院人文科学系)

産学連携推進部門 部門長 城和貴(研究院自然科学系) 小川伸彦(研究院人文科学系) 狐崎創(研究院自然科学系)

藤平真紀子(研究院生活環境科学系) 藤野千代(産学官連携コーディネータ)

地域連携推進部門 部門長 小林 毅(研究院自然科学系) 藤原素子(研究院人文科学系) 植野洋志(研究院生活環境科学系)

藤野千代(産学官連携コーディネータ)

大原昌一(研究協力課) 山下ひとみ(研究協力課研究協力係) 窪田順一(研究協力課社会連携推進係)

西倉久善(研究協力課社会連携推進係)